

平成26年3月7日

三次市長 増田 和俊 様

三次市公共事業評価監視委員会

委員長 戸田 常一



三次市公共事業の評価について（答申）

平成26年2月3日付け三次地企発第70号で諮問のあった三次市公共事業の評価について、次のとおり答申します。

1 三良坂町統合簡易水道整備事業

総合的に判断した結果、対応方針（別紙1）に基づき、事業継続が妥当であると認めます。

なお、今後の事業実施にあたっては、長期的な展望に立つとともに、水道事業を通じて市民の生活環境を改善し、将来的なまちづくりに資する安全で安定した生活用水の供給が実現するよう要望します。

また、効率的な事業執行や透明性の確保が一層図られるよう努力してください。

再評価の対応方針

1 対応方針

- (1) 事業採択後 10 年を経過した時点で継続中の事業に関する再評価について

- ① 三良坂町統合簡易水道整備事業

「水道事業の費用効果分析マニュアル平成 25 年」厚生労働省健康局水道課を基に「残事業における投資」と「事業全体の投資」の両者についての評価を実施します。

- (2) 費用効果分析結果について

分析による費用便益比(B/C)の残事業の投資効率性は、2.24、事業全体の投資効率性が1.55であり、下記2点の理由を勘案し、三良坂町統合簡易水道事業の継続は妥当と判断します。

2 対応方針の理由

- (1) 生活用水の未普及地域の解消

三良坂町の水道普及率は、91.0%に達したものの、未普及地域においては、依然として飲料水を井戸水、山水等に依存している状況にあります。

このため、三良坂地区簡易水道、灰塚地区簡易水道及び仁賀・田利・皆瀬地区簡易水道を統合することに併せて管路網整備を行い、未普及地域(長沢、和地地域)の解消を図ります。

- (2) 安全で安定した生活用水の供給

今回計画している長沢、和地地域は、緑の山々と田畑に囲まれた田園風景のなかに民家が点在する地域であり。また、水道未普及地域であるため、生活用水を井戸水、山水、ボーリング水に依存しています。

三良坂町簡易水道の一部の水源では、フッ素、マンガンの含有量が多く、藻臭がする水源もあり、今後もこの水質で推移するものと想定されます。また地域によって井戸の枯渇の兆候がみられます。

このため、残事業を継続し、安全で安定した生活用水の供給を行うものです。